

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おきなわインターナショナルデイサービスうま塩屋		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月15日		～ 令和8年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 外国人講師によるサポートもあり、日本人職員も英語に触れる事で、児童も職員も学びになっている。 集団活動(20名)を行う事で、就学前に集団生活に慣れる事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 曜日・色・動作などの英語を、トイレや壁面に貼りだし、常に楽しみながら英語に触れらる、空間作りを心掛けている。 楽しみながら英語に触れられる様に、職員間でゲーム等アイデアを出し合い、楽しく英語を学ぶ時間出来る様に心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所開催のイベントや保護者会を通して、子ども達が英語を話す事で、英語で伝えられた喜びや嬉しさを体験してもらう機会を設ける。 イベントや活動を通して、実際に海外の方と交流する機会を増やしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 専門職員がいる為、小集団や個別での訓練を受ける事が出来る。 部屋数が多いので、個別にて対応が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚士・作業療法士・理学療法士が在籍している為専門的な目線で療育を受ける事が出来る。 職員間で話す機会を多く設ける事で、日々それぞれの意見を伝える場がある。 塗り絵・制作・自由遊びなど、部屋を分けて活動を行う事で、選択肢が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> 小集団・個別訓練の様子を、その都度保護者様へしっかりと伝えていく。 訓練の様子も含めて、ご家庭で取り入れられる支援方法を共有する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 毎月職員間で話し合い、お買い物・イベント参加公園遊びなど、積極的に外での活動を取り入れる事で様々な体験・経験に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々楽しみながらOIDの活動に参加出来る様に子ども達が楽しめる活動を、多く取り入れている。 経験豊富な職員が多く在籍しているため、それぞれのアイデアを出し合い、飽きない活動を取り入れられる様に工夫をしている 	<ul style="list-style-type: none"> 季節や行事に合わせたテーマを決めて、毎月の活動を定める。前年度行った内容と異なる活動を取り入れる。 子ども達からの「やってみたいこと」と聞き取り、活動に取り入れていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様と送迎時以外での、コミュニケーションが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会が年に一度しか開催出来ていない為、全員の保護者様とゆっくりお話をする時間が少ない。 職員の入れ替わりがあったり、悩みを気軽に相談できる関係作りが作れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時に出来ていた点や、気になった点などをLINEなどではなく、口頭で伝える事で今以上に保護者様とのコミュニケーションを取っていく。 職員が変わった場合は、周知して頂くために、その都度職員紹介のお手紙を保護者様へ配布する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 個室は多いが、定員数に対しての事業所スペースが小さい。 送迎範囲が広く、事業所に残る職員数が手薄になってしまう時間帯がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎箇所が多い為、その際に外へでしてしまう職員が多く、手薄になってしまう時間がある。 未就学児と小学生が同じ空間にいるため、室内に残って見守る職員が今よりもさらに必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 多く個室があるので、一カ所に固まらない様にスペースを分ける事で、狭く感じない様に工夫をする。 事業所が手薄にならない様に、送迎の組み方を工夫する。安全確保の為、児発管も現場や送迎に入り、全体で見守り・療育を行う。 送迎がどうしても厳しい場合は、保護者様、学校側に時間調整の協力を依頼する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 学童や他デイとの交流が、他事業所と比べると少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所主催で行うイベントが少ない。 他事業所のイベント等を把握出来ていない。 地域のイベントには参加しているが、直接学童や他事業所と、密に接する機会を作れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が積極的に、学童や他デイとコミュニケーションを図り、関係を築いていく。 事前に余裕をもって、事業所に招待したり、一緒にイベントに参加するなど交流を持てる機会を増やしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表日 2026年 5月 19日

利用児童数

19名

回収数

14名

事業所名 おきなわインターナショナルデイサービスうま塩屋

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		1	・普段、活動日にちゃんと見た事がないのでわからない。 ・職員が増えた際、直接ご挨拶させてさせて頂いておりますが、挨拶できない場面もある為、職員紹介のお手紙を配布させて頂きたいと思っております。	・職員が増えた際、直接ご挨拶させてさせて頂いておりますが、挨拶できない場面もある為、職員紹介のお手紙を配布させて頂きたいと思っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				1		・現時点で手すりなどのバリアフリー設置は出来ていませんが、子ども達が怪我をしない様に、危険な物は置かない・クッションをかける等の対策を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			・集団の中で、苦手な事にも特性にも合わせて支援して頂いている。	・専門職員を中心に、職員間で支援内容について話し合いを行っております。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2			・プログラムを個人に合わせた支援がされていて、内容等即構成に合わせたくなる。	・今後も支援内容の透明化を行っていきます。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1				・予告なくカレンダーのアクティビティが変更になる時がある。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1					・日々安心して通所して頂ける様に今後もしっかりと計画書の設定・共有を行っていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1					・一人一人の支援内容を把握し、今後も厳密に行っていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1					制作・運動遊び・外活動等、子ども達が飽きずに楽しめる様、毎週内容を変えて活動を行っています。今後も、さらに楽しんで頂けるように、様々な活動を考えていきたいと思っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1		3			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	14						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12			2		・家族支援プログラム、ペアレント・トレーニングは行っているか分かりませんが、交流会が一度ありました(お話し)良かったです。 ・年に1回イベントを通して、保護者様と交流できる場を設けております。今後、保護者様向けにペアレント・トレーニングも開催できたらと思っております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	13	1				・送迎の際・HUGにて日々の様子を伝えさせて頂いております。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			・モニタリングにて。	・送迎の際やモニタリング会議にて支援方法の共有や事業所での様子を伝えさせて頂いております。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1		・利用中困った時に電話で相談がありとても安心し、その時の状況で寄り添って頂けると感じた。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1			・保護者同士のつながりができて強いです。	・年に一度保護者様同士で交流できる機会が	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14						
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1					・お子様が不安にならないように、1人1人に合わせた、声かけや対応方法を実施しております。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14						
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		・個人情報に関する事がない様、個人情報取扱いには、十分に気を付けております。		
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14						
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14						
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14						
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					・学校での怪我等も報告あり。	
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	14				・先生方を信頼している様子なので安心感を持っていると思います。		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	1			・お友達の話をしてくれたり等、楽しく過ごしている様子です。 ・はい！大好きなお友達がいるので楽しんでます。	・今後も子ども達が日々楽しく過ごせる様に、今後も楽しい環境作りが出来様に努めています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	14				・相談事などを親身になって聞いて検討して下さい。大変満足しています。 ・何より子どもが通所をとても楽しみにしている。充実プログラムと寄り添った療育で満足しています。		

